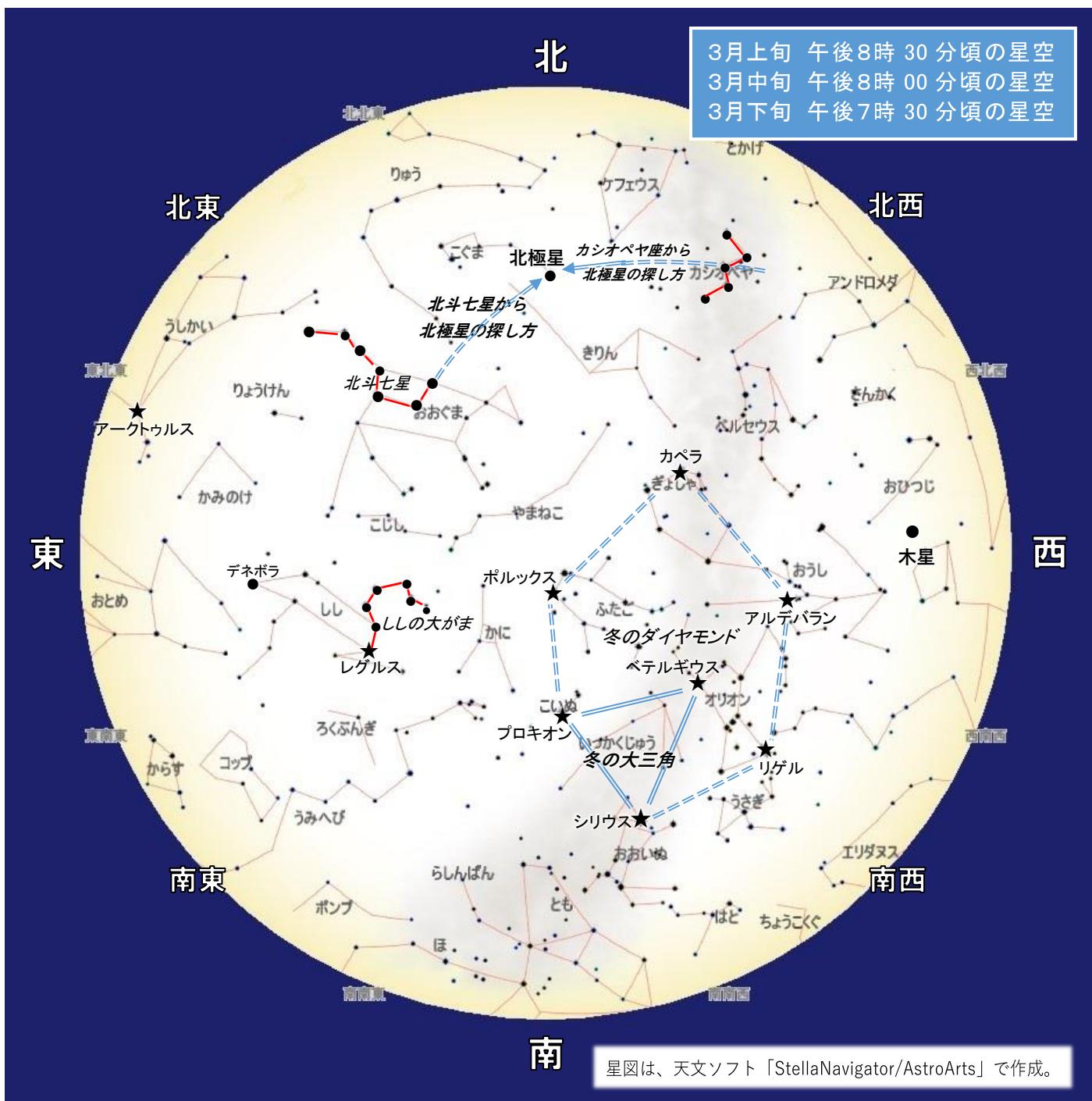


2024年 3月の星空案内



3月上旬 午後8時30分頃の星空
3月中旬 午後8時00分頃の星空
3月下旬 午後7時30分頃の星空



【3月の星空】

冬の星座の1等星、オリオン座の「ベテルギウス」「リゲル」、おうし座の「アルデバラン」、おおいぬ座の「シリウス」、こいぬ座の「プロキオン」、ふたご座の「ポルックス」、ぎょしゃ座の「カペラ」が空高くにぎやかに輝いています。(6つの1等星をつなぐ点線を「冬のダイヤモンド」と表現することもあります。)

東の空からは、春の1等星の先駆け、しし座の「レグルス」が昇ってきます。しし座の目印は、はてなマーク(?)を左右逆にしたような『ししの大がま』です。

【北極星の見つけ方】

「カシオペヤ座」が低くなりました。かわって「北斗七星」が北東の空に昇ってきます。春から夏にかけては「北斗七星」が北極星を見つける手掛かりです。「北斗七星」は、おおぐま座のしっぽの部分で、星座ではありませんが、昔からよく知られた星の並びです。